

古武雄探訪

「技術を受け継ぐ作家たち」

江戸時代の初め、磁器を焼成したことで知られる百間窯の窯跡近くに、くろかみ窯があります。窯名の由来はもちろん山内のシンボルである黒髪山（黒髪神社）。父の竹春さんが窯を開き、元紹さんが引き継ぎ、親子を通じて花器、鉢などの大物から、茶器や食器まで幅広く作陶されています。その作品は素朴な色合いで温かみがあり、「叩き造り」を用い、刷毛目、三島などで変化を出すのが特徴です。

小野さんは、櫛型の道具を使って素地を削り装飾を施す、「櫛目（くしめ）」を得意とされています。その紋様は直線に限らず、波型や扇状など変化に富み、等間隔に並ぶ櫛で施されたものとは思えないほど創造的です。

「薄手の素地に、櫛目をいかに思うように表現するかが難しい。時季や土の状態によっても違う。作陶の醍醐味だよ」と、技法への思いを語られました。

作品を象徴するもうひとつの技法が「型紙摺絵（かたがみすりえ）」。柿渋で防水処理を施した型紙に彫った紋様に染料をこすりつけて絵柄を出します。

見せてもらった紋様は雪の結晶。なぜ

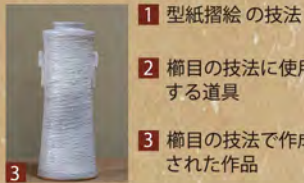
この紋様かの間に「白化粧を施すなら、やっぱり雪の結晶だよ」と笑う小野さん。作品を見ると、雪の結晶が浮かび上がることで陶器特有の土のぬくもりが増すような印象を受けます。

作陶の傍ら、武雄の匠としての体験受け入れや、他の窯元との企画展開催にも積極的に取り組まれており、武雄焼への熱い思いを、穏やかに優しい笑顔で語られる姿が印象的でした。

作品はくろかみ窯ギャラリーのほか、春の有田陶器市でご覧いただけます。



小野 元紹さん
昭和 55 年
佐賀県立有田工業高校卒業
佐賀美術協会会員
・佐賀県展入選
・九州山口陶磁器展入選
・西日本陶芸美術展入選
・佐賀美術協会展入選入賞
・西部工芸展入選
・長崎陶磁展入選



- 1 型紙摺絵の技法
- 2 櫛目の技法に使用する道具
- 3 櫛目の技法で作成された作品

有料広告

春のとくとくWキャンペーン
TVとNET同時加入初期費用 55,080円→32,400円
春だからネットを始めようキャンペーン
NET加入初期費用 22,680円→6,480円
さらに両キャンペーンとも月額利用料最大2カ月間無料!!
期間は17'3月1日(水)~17'4月28日(金)まで
注意事項:それぞれのキャンペーンには2年間の継続利用が条件です。2年以内の解約又は保留は違約金が発生します。

データ放送連携アプリ配信中!!

防災情報はプッシュ通知
出先で地元の天気
地域情報
イベント
学校情報
もしもの時も安心
避難所
休日診療案内
電話帳

詳しくは 検索 または 株式会社 **テレビ九州**